

心に「海」を持つて 作文課題2008

～「抽象概念」を説明する～

《課題の意義》

「抽象概念」は、人間が成長するに従つて、獲得していく。「概念」を「獲得」するというのは「言語化」できるということである。「それを説明できる」ということである。「抽象概念」は「具体概念」とは違い、「モノ」を示せばそれで終わりということではない。人に自分の中の抽象的なもの、自分が経験した抽象的なものを的確に説明する（言語化する）ことにより、「自分」を理解してもらうことができる。また、その力を付けると他人を理解することにもつながつてくる。

社会に出ると様々な抽象概念があふれている。意味不明な言葉があふれている。そのような言葉に出会ったときに「分からない。」と投げ出さず、それを理解し説明できるような努力ができるようにならう。

この単元では抽象概念を「他人に分かるように説明する」という力を身につける。

《課題》次の2つの課題のうち1つを選んでノートで説明すること。

課題
小学三年生の子供に、教科書の中の例を4つ以上用いて、「文化」と「文明」の違いを理解できるように説明する。

課題

著者のいう「海」とは何なのか、心に「海」を持つてほしいことどうして著者が述べているのか、高校1年生に理解できるように説明する。

《形式》

ノートに課題を記すルールを守ること。（頁の右上に課題番号を記すこと。）
縦書き原稿用紙の使い方に沿って記すこと。

文章の書き方は自由である。

チェック5つ以上で書き直し再提出である。

《評価》

対象者に読んでもらう予定であるが、それがかなわない場合は片桐が評価する。
費やした時間の割合分を2学期の成績に繰り入れる（方法は未定）。

《締め切り》
今回を含めて授業時間3時間を費やす予定である。
締め切り11月 日()午後5時。